GitHub

NEWS RELEASE

2023 年 4 月 7 日
ギットハブ・ジャパン合同会社

GitHub、クラウドリポジトリ向けの新しい SBOM 生成ツールの提供を開始

オープンソースプロジェクトおよびビジネスユースを含む、ソフトウェアの開発プラットフォームを提供する GitHub, Inc.（本社：米国サンフランシスコ）は、2023 年 3 月 28 日(米国時間)に開発者とコンプライアンスチームの方々を対象に、クラウドリポジトリ向けの新しい SBOM 生成ツールの提供を開始しました。

サイバーセキュリティの強化に関する大統領令第 14028 号という先例に倣い、セキュリティやコンプライアンスチームからのソフトウェア部品表(SBOM)の要求が増加しています。この目的は、ソフトウェアプロジェクトのオープンソースコンポーネントを特定し、新たな脅威に対するその脆弱性を評価したり、ライセンスポリシーとの整合性を確認することであり、そのため SBOM を簡単に生成し、共有することが求められています。

GitHub は、新たに導入する Export SBOM 機能において、GitHub のクラウドリポジトリに対する読み取りアクセス権のあるユーザーなら誰でも、クリック 1 回で NTIA 準拠の SBOM を生成できることを発表しました。作成された JSON ファイルは、バージョンやライセンスなどプロジェクトの依存関係とメタデータを業界標準の SPDX 形式で保存するため、セキュリティおよびコンプライアンスのワークフローやツールで利用したり、Microsoft Excel でレビューするこ

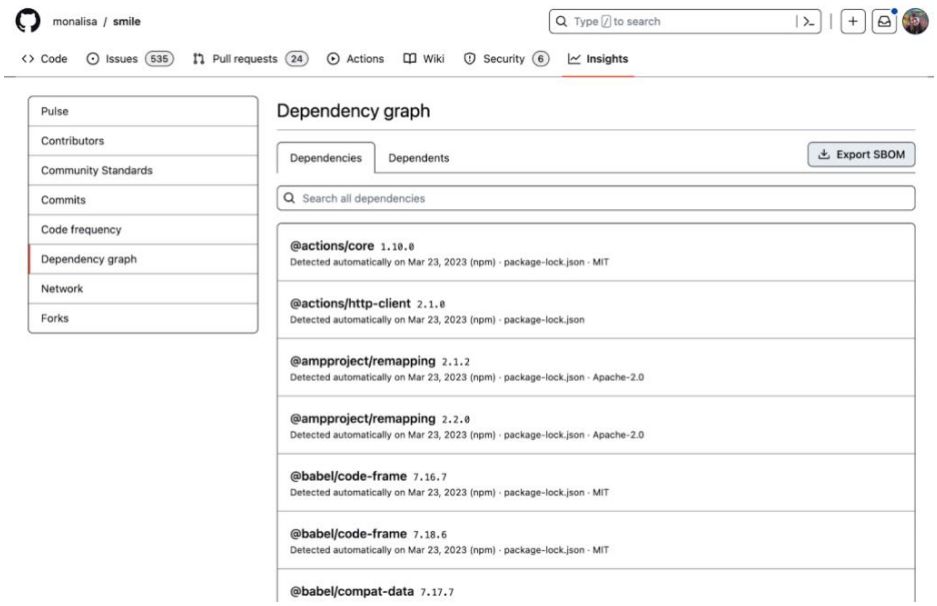
とが可能です(JSON から CSV へのコンバーターを使うと Google Sheets との互換性も確保できます)。

本セルフサービスの新機能を利用することで、オンデマンドで簡単に SBOM を生成できるほか、開発者が開発ワークフローの通常のステップに SBOM 生成を組み込むことも可能です。すでにプロジェクトの SBOM がある場合は、依存関係グラフにアップロードすることで既知の脆弱性があるすべての依存関係に関して Dependabot アラートを受信できます。また、GitHub の SBOM gh CLI 拡張機能を使用して、リポジトリの依存グラフから SBOM をプログラムで生成できるほか、GitHub Action により、ビルド時に SBOM を生成することもできます。今後、依存関係グラフから SBOM を生成する REST API も近日中に提供予定です。

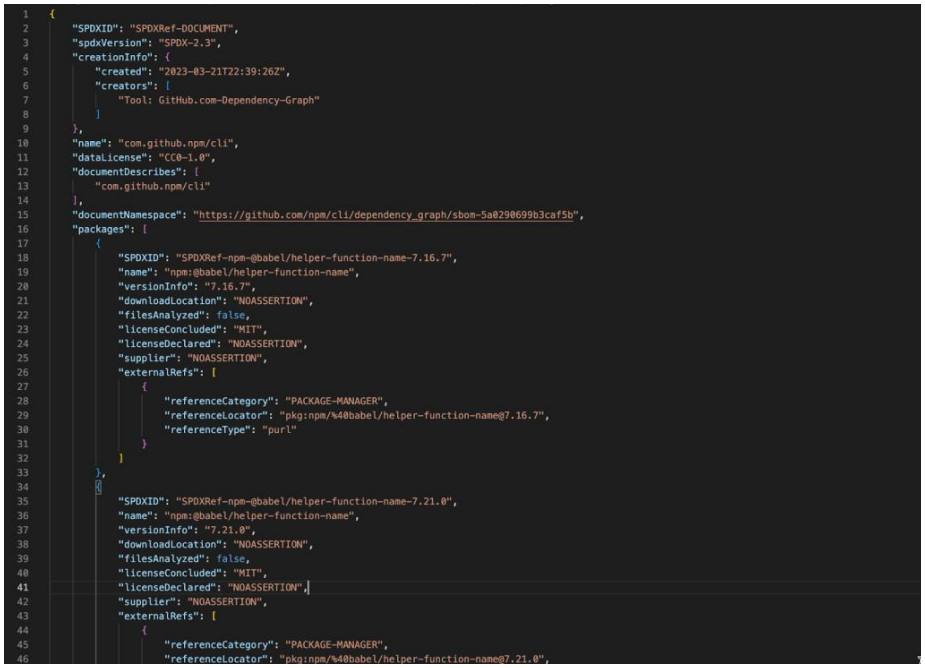
セルフサービスの SBOM は、GitHub のサプライチェーンセキュリティソリューションの一環として、GitHub のすべてのクラウドリポジトリで無料で利用できます。

変更点

SBOM を生成するには、リポジトリの依存グラフにある新しい[**Export SBOM**]ボタンをクリックしてください。



これにより、機械可読な JSON ファイルが SPDX 形式で作成されます。



SBOM の詳細について

- SBOM ドキュメント
- Dependency Submission API
- GitHub SBOM コマンドラインインターフェイス(CLI)拡張機能
- Microsoft SBOM ツール

GitHub Blog
英語：https://github.blog/2023-03-28-introducing-self-service-sboms/

日本語：https://github.blog/jp/2023-04-06-introducing-self-service-sboms/

GitHub に関する情報は、こちらからもご覧いただけます。
Blog： (英語) https://github.blog (日本語) https://github.blog/jp
Twitter： (英語) @github(https://twitter.com/github)
(日本語) @GitHubJapan(https://twitter.com/githubjapan)

【GitHub について】https://github.co.jp
GitHub は、すべての開発者のためのグローバルホームとして、安全なソフトウェアを構築、拡張、提供するための統合された開発者プラットフォームです。フォーチュン 100 社に採択された企業のうち 90 社に所属する開発者を含む 1 億人以上が GitHub を利用し、3 億 3 千万以上のリポジトリで素晴らしいものを共に創造しています。GitHub のすべてのコラボレーション機能によって、個人やチームがより迅速に、より高品質なコードを書くことがかつてないほど容易になっています。

GitHub

NEWS RELEASE

【製品／サービスに関するお問い合わせ先】
ギットハブ・ジャパン営業およびサポート窓口
Email: jp-sales@github.com